



2023年8月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塩町 2-11
THE YMCA 神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町 2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上真二
編集/本部事務局
印刷/有わかばやし印刷

YMCA News



年間聖句

「平和や互いの向上に役立つことを追い求めようではありませんか。」
ローマの信徒への手紙14章19節より



2023年度神戸YMCA大会 開催

6月24日(土)、神戸YMCA三宮会館で2023年度神戸YMCA大会(総会)を対面形式で行い、同時にYouTubeによるライブ配信も行いました。神戸YMCAにかかわる人たちが一堂に会する日として、世代を超え、神戸YMCAの歩みを確認、将来に向け語り合い、楽しく、喜びがあふれる一日とすることを願い、開催しました。出席者数は総会構成員71名、構成員以外の会員49名の計120名でした。



今年の開催にあたって

この大会に向けて実行委員会を組織し、2月から協議を進めて参りました。会員の皆さまが、YMCAが何をすべきか、何ができるのかを語り合う機会とし、ここで語られたことに実際に取り組み、来年の大会で、どうだったかを確認することができればと願って準備を進めました。そのため、過去のことばかりではなく、これから先の方針や計画について説明する時間をとり、しっかりと報告ができるようにしました。



中道会長より開会挨拶と大会主旨の説明がなされました。

2022年度報告と2023年度計画

総会開会にあたり、日本YMCA基本原則を交読して、私たちのミッションを確認しました。

議事は次のとおりです。常議員会の改革のための会則変更について協議を行い、承認されました。引き続き、井上真二総理事から、2022年度の事業および会計報告がなされました。委員会活動については、ミッション委員会は村田奈緒美委員、国際委員会は中尾秀一委員、会員増強委員会は美崎晋委員から報告がなされました。会費、寄附金・募金などのファンド報告は齊藤靖本部事務局主任主事からなされ、用途の説明と多くの支援に対する感謝と更なる支援の呼びかけがありました。また、2030年



神戸YMCA大会のご報告



に神戸YMCAがあるべき姿として「神戸YMCA中期計画VISION2030」の説明があり、続いて実施する「みんなで語ろう」でさらに深められるよう、井上総理事から将来への道筋が示されました。

具体的な取り組み報告

今大会では全体の報告に加え、具体的な取り組みについて、かかわりの深い方々から報告がなされました。

地域支援

小澤昌甲副総理事から、地域に出ていく子育て支援の取り組み、留学生や生活困窮家庭への食生活の支援、コロナ禍のため失われたこどもたちの自然体験の場の創出について報告がなされました。

ウクライナ支援

坂西卓郎国際委員から、ウクライナから避難されたご家庭の受け入れについて報告がありました。

One Camp

黒崎優奈ユースリーダーから、多様なバックグラウンドを持つ異なる人たちが一緒に生きる世界を目指す理想と難しさが語られました。

グループディスカッション「みんなで語ろう」

ワールドカフェ方式により、8つのグループに分かれ、語り合う時を持ちました。テーマは先ほどの総会で共有された「VISION2030」の4つの柱である「未来を創る子どもたちの育ちを支えます。」「若者のつながりに関わりを拓けるプラットフォームの場をともに創ります。」「ポジティブネットのある豊かな社会を目指します。」「未来の社会への責任を担います。」でした。熱心な議論が行われ、それぞれのグループで話し合われたことを共有しました。



それぞれのテーマに沿った課題やキーワードを通して熱心な議論がなされました。



大会を通して

会員の皆さまとともに2022年度の活動を振り返り、2023年度も使命実現のために、「VISION2030」の計画に沿って地域や社会に必要なとされる神戸YMCAの歩みを進めていくことを確認しました。この日に語られたことが、常議員会で報告され、各委員会や各事業で取り上げられ、具体的な取り組みにつながるよう願っています。

神戸YMCA大会実行委員会担当主事 松森 正樹

2023年度神戸YMCA大会を終えて～会員表彰とリーダー委嘱式～

神戸YMCA大会で会員の表彰者の紹介を行いました。また、リーダー委嘱式では余島、三宮、西神戸、西宮の各リーダー会の代表者へ、中道基夫会長から委嘱状が手渡されました。

名誉会員

名誉会員とは、通算20年以上神戸キリスト教青年会(神戸YMCA)の維持会員で、YMCAの発展に特に貢献があった方の中から、常議員会の推挙を受けられた方です。今年、新たに次の皆さまが名誉会員になりました。

本城 智子さん、上野 恭男さん、加藤 光信さん、吉川 欣一郎さん、古谷 美子さん、青柳 美知子さん、城 邦子さん(順不同)

ボランティア奨励賞

ボランティアとして特に顕著な貢献をなされた方です。各部門の責任者等から推薦を受け、常議員会にて推挙されました。

植村 里香さん、佐藤 昌子さん、安川 由佳子さん、朝山 日出夫さん、岩沖 光昭さん、岩本 政則さん、河瀬 博恵さん、古木 ゆきさん(順不同)

青少年奉仕賞

役員・会員として永年奉仕され、特に顕著な貢献をなされた方です。

浅野 純一さん、大田 厚三郎さん、丹家 元陽さん、中出 信義さん、中村 豊さん、西尾 幸男さん、藤原 百合子さん、宮田 泰子さん、森 愛子さん、山形 謙二さん、山野 和彦さん、山ノ井 景子さん、山本 常雄さん、若林 成幸さん(順不同)



リーダー委嘱式
中道会長と各リーダー会代表者



青少年奉仕賞代表者
若林さんと宮田さん



名誉会員証の贈呈
中道会長と受賞者代表上野さん



明日の指導者は今日、つくられる

ファミリーウェルネスセンター

今年もウェルネスセンターでトライやる・ウィークの受け入れを行いました。小学生の頃、メンバーとしてYMCAの活動に参加していた中学生が、YMCAに帰ってきました。YMCAで育った中学生です。これは、リーダー冥利につきます。

その中学生の5日間の取り組みと感想から、いくつかの気づきを与えられました。「トライやる・ウィークに来る前と来てからで、イメージと違うところは？」と質問すると、「来る前は緊張しなかったけど、来てからとても緊張した」とのことでした。理由を聞くと、「こどもを目の前にして、とても緊張した。怪我しないように気を付けないといけないし、責任を感じたから」だそうです。「責任」を感じるのみならず、自分でできることに精一杯取り組んでいる姿勢が素晴らしいです。

このように、感性と共に行動できる力を活かした彼女は、まさに「YMCAリーダー」だったように思います。彼女が「リーダー」として、再びYMCAに帰ってくることを願っています。そして、今日もウェルネスセンターで、明日の指導者がつくられています。



修学旅行を終えて～横浜・千葉・東京～

神戸YMCA高等学院

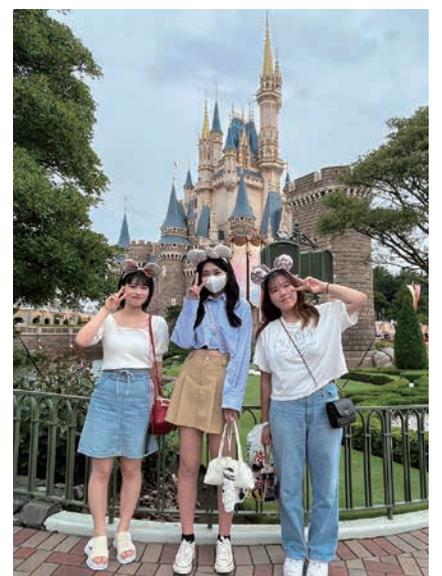
4年ぶりの2泊3日での修学旅行。10名の生徒が参加し、横浜・千葉・東京に行きました。

1日目、初めて飛行機に乗る生徒も多く、緊張していましたが、無事に羽田空港に到着。横浜赤レンガ倉庫周辺を散策した後、「カップヌードルミュージアム 横浜」でオリジナルのカップヌードルを作りました。

2日目は、東京ディズニーランド。午前中は混雑しておらず、たくさんのアトラクションを楽しみました。思いっきりディズニーランドを満喫しました。

3日目は、浅草を散策した後、東京スカイツリーへ行きました。あいにくの曇り空で、きれいな景色を見ることはできませんでしたが、良い思い出となりました。

この3日間で、学校生活では学ぶことのできない新しい体験や友だちとの交流ができました。最後になりますが、今回の修学旅行にご協力とご理解を頂いた保護者の皆さま、関係者の皆さまに心より感謝いたします。誠にありがとうございました。



R E P O R T

YMCA保育園

ワイワイまつり開催！

5月20日(土)、晴天のもと、ワイワイまつり(チャリティーバザー)を行いました。食事を伴う開催は3年ぶりです。午前中は0、1、2歳児の親子のみなさん、午後からは3、4、5歳児の親子、卒園児、地域の方々にもお越しいただき、賑やかなお祭りとなりました。来年は更に拡大して実施する予定です。

益金は、地域で必要とされる食の支援活動や学園都市地域の行事、生活介助の必要な方々への支援、そして里親運動を展開する家庭養護促進協会に寄附させていただきます。このような園の行事が、徐々にまちのお祭りになっていくことを目指してまいります。



YMCA西神戸学童保育クラブ

たくさんの楽しい体験を

神戸YMCA西神戸ランチで運営している「YMCA西神戸学童保育クラブ」では、今年度、1年生から6年生まで合計154名のこどもたちが登録し、毎日100名前後が利用しています。

今年5月に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが第5類へ移行したことから、学童保育フロアでもマスクを着けるこどもたちが減り、マスク越しではないこどもたちのそのままの笑顔と活気があふれるようになってきました。これまで十分に取

り組めなかったクッキングやキャンプ、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、遠足などの楽しい体験の機会も多くなりそうです。こどもたちもリーダーたちも気持ちを切り替えて、無理なくコロナ前の生活に戻すことを考え、工夫をしながらチャレンジをしています。

2023年度もあっという間に3ヶ月が過ぎました。衛生面には引き続き配慮して、1日1日を大切に、こどもたちと過ごしていきたいと思ひます。



こくさいのまど

国際交流プログラム ～スウェーデンより来神～

5月20日(土)～29日(月)、スウェーデンのヘルションフォルケホイスコーレ(18歳以上が通える教育機関)から、日本語クラスの受講生11名と引率者3名が来日しました。2020年の予定がようやく実現したもので、滞在中は観光や文化体験などさまざまなプログラムが行われました。

交流会では、ある出来事で一気に距離が縮まりました。それはお菓子交換でした。スウェーデンの「リコリス」という黒いグミは、世界一まずいグミとも言われ

ます。「食べてみないとわからないわよ！」と誘われた学生は「まずい！」と言いつつ笑顔を作り、その様子にみんなで大笑い。積極的なコミュニケーションで共通の話題は見つかりますが、目の前の出来事は瞬時に私たちをつなぎます。コロナ禍により、さまざまな体験を失っていたことに気づかされた瞬間でした。

日本に来てわかる空気、外国人とかかわることで身近に感じる文化。海外との交流がさらに活発になることを楽しみにしています。

灯台
Light House

No.38

総主事 井上真二



関東大震災から100年

2023年は1923年に発生した関東大震災から100年の節目に当たります。発生日である9月1日は「防災の日」と定められています。近年、記録を更新し続ける降水量の大幅増による土砂崩れや河川の氾濫などが多発し、また今年に入っては、国内のあちこちで頻発している震度4～5クラスの地震も不安なところでは

神戸は1995年に阪神・淡路大震災でマグニチュード7.3を経験しました。東北では2011年の東日本大震災において、日本周辺における観測史上最大のマグニチュード9.0、そして大津波を経験しました。内閣府の防災の情報

ページでは、津波の高さは福島県相馬9.3m、岩手県宮古8.5m、大船渡8.0m、宮城県石巻7.6m、そして宮城県女川漁港は14.8mと記録されています。

これらをはるかに上回る大地震が今後30年以内に起こる確率が高いと発表されており、個人や各家庭での備えをするよう、たびたび推奨されています。また企業においては自然災害、感染症、原子力事故や火災、停電などの緊急事態が発生した際に被害を最小限に抑え、いち早く事業が再開できるように対策や方法をまとめた業務継続計画の策定が求められています。

日本のYMCAでは災害時エリアセーフティーガイドラインを作成し、近隣YMCA間で備蓄備品、発生時の初動連携などについて情報を共有していくこと、発災後に被災地にあるYMCAと近隣YMCAが迅速に連携し、状況に即した支援活動を行うことが確認されています。100年という節目の年を、一層の防災や減災に取り組むきっかけにしたいと思ひます。

こべっこあそびひろば西神中央 オープン

神戸YMCA福祉会は、西区の西神中央地域の「おやこふらっとひろば西」に続き、神戸市の委託を受け、5月から「こべっこあそびひろば西神中央」の運営を開始しました。

「こべっこあそびひろば」は神戸市が開設する子育て支援施設で、0～6歳の未就学児が保護者と一緒に遊べる場として、また、子育て世代の交流および情報発信の場として整備されています。北区の「こべっこあそびひろば岡場」、東灘区の「こべっこあそびひろば六甲アイランド」に続く3カ所目となる施設で、15日(月)からスタートしたにもかかわらず、5月だけで延べ3,300名の利用がありました。

5月28日(日)には、10,000ピース以上の木製積み木「カブラ」を使った特別プログラム「カブラで遊ぼう」を実施しました。積み木の性質上、3歳以上の幼児と

保護者が対象となりましたが、多くの皆さまにカブラの遊び方、楽しさを知っていただきました。最終的にはカブラでひとつの街が出来上がり、大盛況のうちに終了しました。

今後、神戸YMCAが運営する施設として、子育て世代の方々のさまざまな出会いと交流の場として、認知されることを願っています。



ワイズコーナー

「絵本プロジェクト」が表彰されました

六甲部部長 井出 浩 さん(神戸ワイズメンズクラブ) 6月10日(土)～11日(日)、六甲部が所属する西日本区の大会が、600名を超える参加者を得て熊本で開催されました(ちなみに、西日本区にはおよそ1,300名の会員がいます)。この大会で、六甲部から神戸YMCAの子育て支援の各施設へ絵本を贈呈する「絵本プロジェクト」(神戸青年4-5月号に掲載されました)が紹介され、活動に対して六甲部7クラブが表彰されました。YMCAを通じてこどもたちに直接届く支援が評価されたものと思います。私たちも、こどもたちが絵本を楽しんでくれること、こどもたちが健やかに成長してくれることを願ってやみません。

ワイズメンズクラブは、YMCAとの協働を通して、YMCAに連なる青少年へ、さらなる支援を目指したいと思っています。

ワイズメンズクラブとは

YMCAをサポートするボランティアの人々による世界的な奉仕団体です。神戸YMCAエリアには現在、六甲部として7クラブ(神戸、西宮、神戸西、神戸ポート、宝塚、神戸学園都市、芦屋)があり、神戸YMCAの諸活動を支えながら、国際交流・地域社会への奉仕事業・若者の交換留学などの支援活動を行っています。

中学生向け学習支援教室

「西神戸YMCAまなびば」7月1日開講!

「生まれ育った環境でこどもの将来が左右されている」という現在の社会課題に対して、西神戸YMCAでは、神戸市の採択を受け、「学びへつなぐ地域型学習支援事業」を7月より実施しています。

この事業は、こどもたちが多くのボランティアとかわり、それぞれのペースで学習を進める中で、将来の自分を自ら見出し出していけるような居場所を共につくっていきけるよう、取り組むものです。

経済的な事情等により学校外での学習機会を十分に得られない中学生を対象に、毎週土曜日午後学習の時間を設定します。大学生や元教員、塾講師などのボランティアが、受講生の理解度や学習スタイルに合わせてサポートします。現在、受講生は18名、ボランティアの登録は28名となりました。地域の皆さまにも、この活動にぜひ目を向けていただ

き、お支えいただければと願っています。生徒たちと共に学習を進めてくださるボランティア、教材や文具、休憩時の飲み物やおやつのご提供も、募集しています。

詳しくはこちらから→



神戸YMCA遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。

神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要とされる活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

神戸YMCAの願い

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202
ランゲージセンター	☎078(241)7204
専門学校	☎078(241)7203
西宮YMCA	☎0798(35)5987
余島野外活動センター	☎0879(62)2241
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)	☎078(241)7216
国際・奉仕センター	☎078(241)7204
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401
西神戸YMCA	☎078(793)7402
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435
YMCAおひさま	☎078(793)9077

西神南YMCA	☎078(993)1560
須磨YMCA	☎078(734)0183
YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821
西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016
あかしこども広場	☎078(918)6355
学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045

